



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

1999 年 (平成 11 年) 10 月 31 日

第 30 号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel (6848) 1000

URL : <http://www.nttl-net.ne.jp/tcpvc>

E-mail : tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

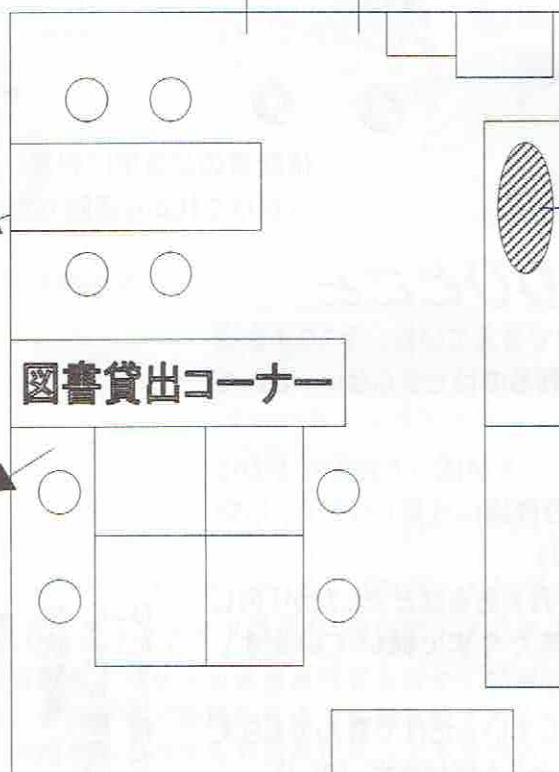
ボランティアセンターが新しくなりました

1999 年 8 月 30 日(月)約 30 名のボランティアの皆さんのご協力により、ボランティアセンターの引っ越しが行われました。新しいボランティアセンターは福祉会館の 1 階。いままでよりずっと立ちよりやすくなりました。

入口



こちらは、ボランティアグループのちょっとした会議などにご利用いただけます。



図書貸出コーナー



ビデオ・テレビコーナー

市社協登録ボランティアグループ「ズームイン」の作品や、コミュニティーケーブルテレビで放送された社協のイベントなどのビデオを自由にご覧いただけます。



ボランティアセンターには数多くの福祉・ボランティア関係の図書があります。ご自由にご利用ください。

貸出ノートに記入してね!



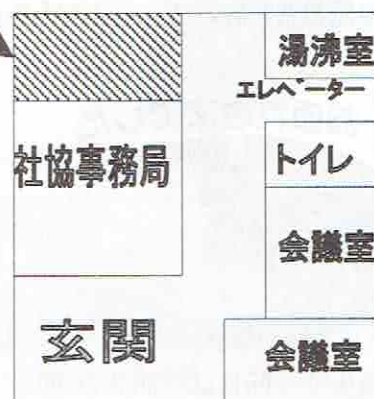
福祉会館の 1 階の奥です。
お気軽にお立ちよりください!!

引っ越し先は...?



ボランティアセンターって...?

ボランティアセンターはボランティアをしたい人のためのオープンスペース。ボランティア活動に興味のある方、またボランティア活動中の方などなどいろんな方に気軽に立ちよっていただけるスペースです。



リフト付自動車「ユウあい号」3号車発進！！

豊中市社会福祉協議会では市内在住の車椅子をご利用の障害者や高齢者の方の外出の支援を目的にリフト付自動車「ユウあい号」を貸出しています。この4月に、豊中南ロータリークラブ・大韓民国梁山ロータリークラブ・中華民国台北士林ロータリークラブより、3台目のリフト付自動車ユウあい号が寄贈されました。

このユウあい号の運転ボランティアとして大活躍しているのが市社協登録ボランティアグループ「豊中アッシー」の皆さんです。

ご家族で運転される方がいらっしゃらない場合には「豊中アッシー」の皆さんにご協力いただいて、通院や駅などへの送迎を行っています。

今回はアッシーの活動に一日同行しました。

～「豊中アッシー」のある一日～

出発！



社協事務局集合。

今日の活動先の説明を聞きます。



依頼者のご自宅に到着

今日はこれから通院です。



はじめまして！！3号車です！！



団地の階段の昇降をお手伝いすることもあります。

アッシーさんよりひとこと

★ボランティアを外側から見、想像で考えていた。今70才を過ぎて「老人」の一言で切り捨てられるのはたまらない。老いて枯れず、気迫で走りたい。(T.K)

★活動に参加させて頂き、多数の方々が困っておられるのは驚きました。今後も自分自身の健康に注意しながら、活動を続けたいと考えています。(T.N)

★登録した4年半前は活動のない月もあるほどでしたが「何しろ続ける事！」との先輩のお言葉で今まで続いています。(S.O)

★今の私に出来ることをコツコツとしているだけで喜んでもらえれば、なによりうれしいです。これからも続けます。(T.I)

★在籍だけは長く活動はまだまだ少ないですが、喜んで頂いた時の気持ちを忘れず、一人でも多く今後も走り続けます。(I.K)

病院到着。
ここから診察が終わるまで
ひたすら待ちます。



お疲れさまでした



事務所で運転日誌を記入し、
活動終了！



診察が終わったら、依頼者を
自宅に送り、事務局に戻ります。



待ち時間の一コマ。

2000年4月から

公的介護保険制度が始まります。

最近、さまざまところで取り上げられている介護保険制度。この介護保険制度について、登録ボランティアグループのリーダー会で勉強の機会を設けてほしいという声があがり、勉強会を企画しました。この勉強会では、市の介護相談課の方を講師にむかえ、介護保険制度そのものについて、また介護保険制度下のボランティアの役割について学びました。当日はボランティアさんから質問も出るなど、活発な勉強会となりました。

介護保険に寄せて～ボランティアよりひとこと～

他人事では済ませられない！

たくさん抱えたまま動き出してしまった介護保険。一番気になるのは、「今まで」と「これから」の狭間で行き場を失い途方に暮れる人があるのでは？というところです。誰もが他人事では済ませられない問題だからこそ、みんなで少しでも良い制度へとなるように関わっていくことが必要だと思います。(T.D)

介護保険は払い損！？

介護保険料を支払って介護を受けず、元気でいたら損だという意見を聞きました。自動車の保険料を支払って事故をおこなさければ損でしょうか？とてもラッキーな事ではないでしょうか？(T.H)

今までの福祉予算は
どうなるの？

移送サービスは
横出しサービスになる
の？



同じ症状でも家族構成
によって認定は変
わるの？

保険料が府下で一番
低いのはどうして？

熱心に話に聞き入る参加者

配食と移送はどうなる？！

実施されてみなければ分からないことが多すぎるような気がする。第一に、個々によって全く異なる症状の認定をどこまで平等に且つ公正に認定できるか？又、数々予定されているサービスの中に、重要な「配食」「移送」がないことである。四年以上前から関わっている移送ボランティアであるが、当時、月に数えるほどの活動しかなかったものが、今は、二十回、三十回を越える要請の実態を把握できているのか？掌握出来ていても導入されないとなれば、そのサービスのないのは、どう対処され、対処すればいいのか。切に知りたいと思う者である。(S.O)

ボランティアとして・・・

「介護保険」について私なりに勉強してきました。疑問、不安がありますが、ボランティアとしてもう一度考えてみたいと思います。

ボランティアに期待されるのはうれしいことですが、インフォーマルサービスなどという表現で過剰な活動を担わされないように心しなければいけないと思います。介護の問題、高齢者の問題を総て「介護保険」に任せるのではなく福祉全般の問題として捉え、人が人として尊厳をもって生きていくところは行政が行なうべきだと思います。

長生きしてよかった。豊中市でずーっと生活したい。と思えるように、ボランティアとして出来ること、やるべきことをしっかり見極めて活動したいと思います。(K.S)

平成10年度ボランティアセン

平成10年度も市社協ボランティアセンターはさまざまな活動を行いました。小地域福

登録ボランティア



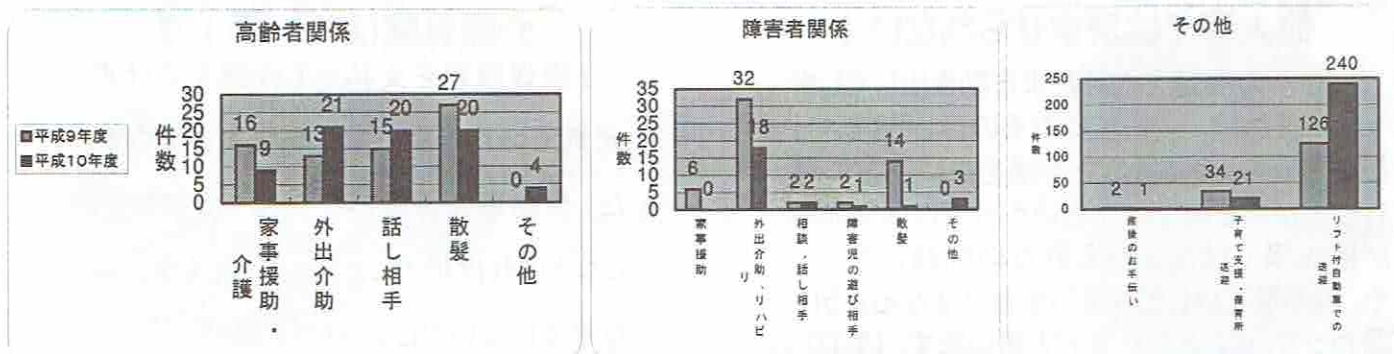
<登録者数>

585名
男性 135名
女性 450名

<ボランティア相談数>

259件
情報提供 118件
ボランティア新規登録 141件

★登録ボランティア派遣状況（在宅支援）



※この他に、障害者福祉作業所のお手伝い、一歳半健診・痴呆性老人家族交流会・老人介護者家族の会・難病の会などの支援、友愛電話訪問、歌体操、手作り介護用品、車椅子体験学習などの活動を行い、全体で477件、延べ3,990名のボランティアさんが活動されました。

平成10年度は新たにこんなことに取り組みました！

7月 企業・社会人のための

サタディボランティアスクール開催

今までのボランティアスクールに加え、あらたに平日勤めている社会人の方でも参加できるボランティアスクールを開催しました。



9月 ボランティアセンターホームページ開設

市社協登録ボランティアグループ「アクセス」結成 NTT北大阪支店のご協力により、8月に研修会を行い、9月にボランティアセンターのホームページを開設。研修会参加者を中心にボランティアグループ「アクセス」を結成しました。

現在、毎月第2土曜10:00～に定例会を行い、ホームページの内容の企画などを行っています。

アドレスは<http://www.nttl-net.ne.jp/tcpvc>

11月 ヒューマンカーニバル開催

千興会との共催で千里中央の縄広場にて開催。障害者福祉作業所のお店やボランティアグループの舞台発表など晴天にも恵まれ、約8000人が訪れました。



11月・2月 豊中のボランティアイメージキャラクター「ボランちゃん」決定！！

11月のヒューマンカーニバルで豊中のボランティアイメージキャラクターを市民投票で決定。2月の豊中ボランティアフェスティバルでは着ぐるみが登場。会場で名称投票を行い、名前が「ボランちゃん」になりました。

ターはこんなことをしました！



社ネットワーク活動にはあらたに5校区が取り組み、22校区で活動が展開されました。

小地域福祉ネットワークって…？

豊中市社協では、平成4年度より校区福祉委員会(小学校区で結成)を単位としたボランティア育成や需給調整を実施する体制づくりを確立することを目的に「校区ボランティア部会推進事業」をスタートさせ、校区内の助け合いのシステムづくりを進めてきました。

さらに、平成8年10月からは、校区福祉委員会が①予防・予知・ニーズの発見活動(声かけ・見守り)②要援護者の発見③個別支援活動(話し相手・買物・薬取り等)をトータルに行える体制づくりを進めるための小地域福祉ネットワーク活動推進事業をはじめました。

また、地域での集団的なケアやニーズの把握を目的にふれあいサロンやミニデイサービス事業をすすめています。

平成10年度小地域福祉ネットワーク推進事業指定校区

桜塚	南桜塚	刀根山	豊島	原田	中豊島	西丘	北丘	東豊台	少路・北緑丘	泉丘
豊島北	北条	庄内南	上野	東丘	野畑	克明	熊野田	南丘	東泉丘	庄内西

網掛けは平成10年度新規指定校区

見守り・声かけ



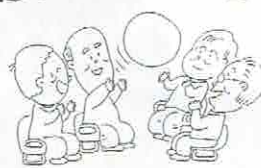
見守り世帯 2,074 件
見守り回数 1,712 回
延べボランティア人数
59,506 名

個別援助活動



派遣件数 111 件
派遣回数 2,979 回
派遣人数 4,294 名

ふれあいサロン



18校区で実施

ミニデイサービス



平成10年度は桜塚校区、原田校区に加えてあらたに上野校区で実施

一本の電話から

小地域福祉ネットワークからボランティアセンターへ…

Aさんは寝たきりのお母さんと二人暮らし。最近引越してきたばかりで、毎日24時間、精一杯介護している日々。なかなか精神的にも余裕がなく、ご近所付き合いや相談できる人も地域では見つかりませんでした。そんな中で介護に必要なものを買に行く時間、いつも声をかけてもらっていたのは唯一地区の民生委員であり、ネットワークの推進委員でもあるBさんです。「元気？なんかあったらいつでもいってね」しかし、その時点では、地域の人に協力を求めることなどないとAさん自身は感じていたため、会釈程度で自分の状態などを心から話そうとはしませんでした。

そんなある日、Bさん宅に「介護者である私がふらついてきたのでとにかく買い物だけ協力してほしい」と電話が入りました。まぎれもなくAさんのせつぱつまった声でした。そこですぐにかけつけ、用事を済ました後Bさんは

即、ボランティアセンターに協力要請をしました。Bさんは次の日から予定があり、自分だけの力では当面の対応が無理と判断したからです。長年殻を閉じて介護していたAさんからのSOSにはとにかく即対応しようとセンター職員とBさんが緊急で家庭訪問を行い、この間のAさんの介護についての話を確認しました。職員からは、介護保険制度も始まる良いきっかけであるから是非制度利用を行うよう、また、ときどき介護上の悩みなどを介護者の会の電話相談や訪問指導などで保健婦さんに話してみるよう紹介し、今後制度利用を広げるように話しました。そして後の2日間「そよかぜ」による家事援助を行いました。声かけがなかったらこの人はいったいどうなっていたのか考えると心配です。校区での小地域福祉ネットワークは、大きな取り組みはできなくても見守り緊急時をキャッチしていくためには大きな力を発揮するのです。

ひろがるボランティア協力校

昭和59年度から始まったボランティア協力校事業。平成11年度は35校が指定を受け活動を展開しています。また今年度は新たに教職員のためのボランティア体験学習研修会を企画するなど、市社協ボランティアセンターでは、学校でのボランティア体験学習の支援を行っています。

教職員のためのボランティア体験学習研修会

1999年6月17日、福祉会館にて教職員のためのボランティア体験学習研修会を開催しました。

参加者は15名。それぞれ、手話・車椅子・アイマスクの3つに分かれ、体験しました。

手話体験では聴覚障害者の方のお話や手話の基本、車椅子・アイマスク体験はそれぞれバスや電車に乗るなど、かなり深い内容の研修会となりました。



手話体験

手話を学ぶ、覚えようという意識では生きた手話は身につかないし、聴覚障害の人と十分意思を伝え合おうという気持ちを持つことが大事なのだということがよくわかりました。

自分で実際に体験して、目の見えない状況がいかに不安かもわかったし、また介助する細かな要点もわかり、とても良かったです。



アイマスク体験



車椅子体験

初めて本格的に車椅子にふれました。みているより大変でしたが、体験できて大変良かったです。

原田小学校では・・・

豊中市立原田小学校（校長 淵上 欽司）は今年度からボランティア協力校事業の指定を受け、6年生児童が体験学習を行いました。

児童の希望を取り、車椅子体験・手話体験・手作り介護用品づくりにわかれて取り組みました。



手作り介護用品づくりでは、ビーズマット・お手玉・にぎりっこの製作にチャレンジ。出来上がった作品は、地域に住む高齢者にプレゼントされました。

第九中学校では・・・

豊中市立第九中学校（校長 金築 久雄）では、1年生が学年全体でボランティアを体験。クラスごとにテーマを決め、手話・アイマスク・募金活動・校区福祉委員会の活動・障害者福祉作業所での体験を行いました。



それぞれの体験の成果は9月28日、29日に開催された同校の文化祭にて発表されました。

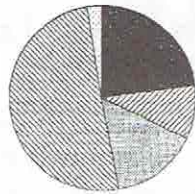
企業・団体の社会貢献活動調査報告

会社人から社会人へ

平成11年2月から3月にかけて、市内の企業234社を対象に平成11年2月から3月にかけてアンケートを実施しました。(回収率32.1%)不況により、バブルの頃と違った地域密着型の社会貢献活動が必要になります。今後はネットワークを進めます。

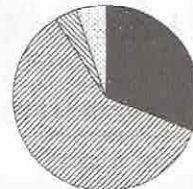
1. 半数が社会貢献活動を行っている

■企業が実施 ■従業員実施 ■どちらも実施 ■行っていない ■無回答



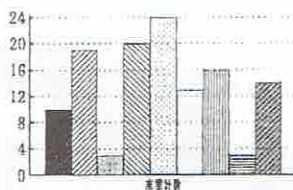
2. 社会貢献に対する意向は必要線を感じるが全体の91%

■必要である ■必要性理解 ■不必要 ■その他 ■無回答



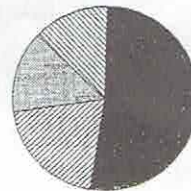
3. 市社協には、情報提供や交流の場ボランティアは事業の企画に期待

■情報提供紹介 ■V行事企画 ■V関係充実 ■情報交換 ■啓発
■連絡会設置 ■活動先紹介 ■その他 ■無回答



4. ボランティアボード掲示にも半数以上が協力姿勢

■協力する ■協力しない ■内容による ■無回答



5. ネットワーク組織化には関心が高い

参加する	9 (12%)
内容によって参加する	47 (63%)
参加しない	4 (5%)
無回答	6 (8%)

市社協では12月に市内の企業に呼かけ企業ボランティアネットワーク(仮称)を組織化する予定です。
結成総会は12月18日(土)



高齢者の足タクシーがおもしろやり

阪急タクシーの乗務員さんボランティア講習会 車いす・アイマスク・タクシーの乗降

7月19日と9月4日阪急タクシーの乗務員などを対象に講習会を行いました。これは、会社から「高齢化社会で介護を要する人の利用が増えているが、利用者にとっても乗務員にとっても無理のない介護方法を学ぶことでお互いが安心して対応できるのでは・・・」と市社協ボランティアセンターに相談がもちかけられたことがきっかけで実現したものでした。当日は、保健センターの理学療法士、市社協からは事務局と「みちしるべ」「ステッキ」等が体験指導を行いました。



社会人のサタディボランティアスクール 今年も50名が参加

“本業にやさしさを 加えると社会貢献に”

7月17日から9月4日にかけて今年も社会人向けのボランティアスクールが開催されました。参加者はこの夏のボランティア体験で、新しい自分の発見があったようです。



巡先生の熱弁に参加者は共感

第8回おおさか ボランティアフェスティバル

1999年10月3日(日)大阪ビジネスパークツイン21ギャラリーにて、第8回おおさかボランティアフェスティバルが開催されました。今年のスローガンは「言葉を交わせばみんな仲間、すべての世代のための社会をめざして」会場には子どもからお年寄りまでたくさんの方が訪れました。

今年は国際高齢者年。それに合わせて高齢者ボランティア大会が開催され、舞台では市社協登録ボランティアグループ「さわやか」の歌体操が披露されました。



また、市社協登録ボランティアグループ「ステッキ」の田口増恵さん、野一色隆江さん、長岡美千代さんが表彰されました。そして、市社協登録ボランティアグループ「ズームイン」の保田健一さんがいきいき賞を受賞。会場からもあたたかい拍手が沸き起こりました。

**保田さん
おめでとう!**



★トルコ地震・台湾地震

災害救援募金活動実施中!

豊中市社会福祉協議会では現地の支援活動及び被災者救援のために役立ててもらうことを目的に福祉会館事務室に募金箱を設置しています。

編集後記

来春には、介護保険制度が施行されます。将来は、家族による介護より“人さま”に援助される在宅介護へと共生の時代になりますがお互いに優しい温かい心で、高齢者を敬い、命の大切さを忘れないでほしいです。(N. H)

今後の予定

★1999年11月3日(水・祝)

ヒューマンカーニバル

場 所:千里中央北広場

時 間:11:00~17:00

雨天中止

内 容:障害者福祉作業所の店
ボランティア体験コーナー
ふれあいステージ など

★2000年2月20日(日)

第7回豊中ボランティア

フェスティバル

場 所:豊中市立市民会館

内 容:シンポジウム

「介護保険とボランティア」

★使用済みプリペイドカード集めてます!!

「もういらないから…」と捨ててしまおうと思っている使い終わったテレフォンカードや回数券を、福祉のために役立ててみませんか。市社協では使用済みプリペイドカードを集めています。このカードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

対象となるのは

テレフォンカード、ラガールカードなど回数券

★ボランティアセンターだより編集委員募集!!

あなたもボランティアセンターだよりの編集に携わってみませんか?? 文章を書くのが好きな方、イラストを描くのが得意な方などなど大募集します。

お問合せは

豊中市社会福祉協議会 Tel. 6841-9393

